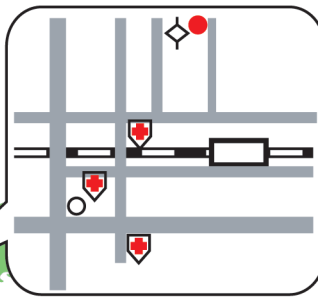
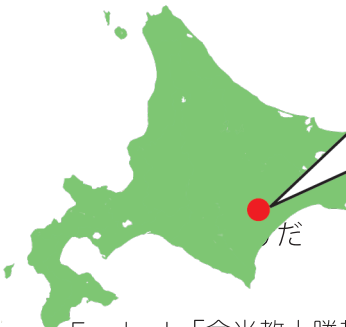


TEL 015-572-2322
FAX 015-572-4213



金光教十勝教会
〒083-0001

Facebook「金光教十勝教会」池田町旭町 1-9
<https://konkotokachi.stars.ne.jp>

十勝教会 だより 97



Facebook



教会 HP (PC)



金光教公式 HP

今年もよろしくお願いいたします。
世話になる何事にもお礼がいえるよう
信心の稽古に励み「まことのおかげ」
をいただきましょう。



令和五年を迎えて
今年こそ信心の稽古を

金光教十勝教会

令和五年、^{みずのと}癸卯、西暦二〇二三年を
迎えました。みな様今年もよろしくお
願いいたします。

前回までのおさらいです。

金光教の神様、天地金乃神様は、人
間をはじめものみなを生かす無限の御
働きであり、すべてのいのちの根源で
ある。

天地金乃神様は、私達人間（をはじめ
万有）を神の氏子と愛してやまない。だ
から神様は天地や体の働きを整え、私
達を支え生かしてくれている。さらに、
常に私達の助かりを願われ、手を差し
伸べてくれている。しかし、どれだけ
神様が私達を助けようとしても、私達
は神様のことを知らないため、神様の
働きかけに気付かず、差し伸べられた
手を掴むことができない。神様のこと
は教祖生神金光大神様が教えてくれて

いるから、その教えを聞いて（お取次を受け）信心をして、私達を生かし助けてくれる神様の願いや働きを知り、神様に助けてもらいましょう。

○

教祖様は、私達を生かし、助けようとしてくれる神様のお働きを「神様のおかげ」と呼び、例えば

「お天道様（太陽）のお照らしなさるのもおかげ、雨の降られるのもおかげ、人間はみな、おかげの中に生かされて生きている。」

と人間は神様が整えてくれた天地の中に生かされていると説き。あるいは、「冬の寒中に外の冷たい寒い時、天地の親神より体の内へご陽気をお与えくださるので生きておられるぞ。四季に応じて昼夜の別なく、天地の親神様が息のさし引きまでお守りくださるのであるぞ。」

たとえば自分の体であっても、神様がその働きを整えてくれている。私達は神様に生かされているのだと説きます。



「立教聖場」
教祖様が御取次をされた広前です（復元）

この私達を生かし支えてくださる神様の働きは、全ての人間・生命が享受しているものです。信心して、受していないは関係ありません。天地金乃神様の信心をしていないから陽の光を浴びることができない…なんてことはあり得ませんよね。教祖様も、「生きておる者にはみな、おかげをやってあるぞ。ご恩忘れなよ。」と説きます。生きているものはみな、

神様のおかげを受けられるということにほかありません。

しかし、その中であって教祖様が大それた説くのは、「ご恩を忘れるな、あなたは神様のおかげに生かされているんだ。だからそのことへの感謝を忘れるな、ということです。」

天地の働き、体の働きをはじめ、ものみなを支え生かしてくれる働き、これは誰もが普通に受け取れます。特別願う必要ありません。つまりこれら神様のおかげは、私達にとって、あつて当たり前なことなのです。でもそれがなければ生きていきません。そして何より、天地の働きも体の働きも、人間の自分の力では整えることはできません。教祖様は、「自分は、人の力を超えた大いなる御働き、神様という無限の働きに生かされている、それに気付き、感謝できるようになれ」と言います。

当たり前と思っていることに「感謝」ができるようになると、何が起ころの

でしょうか。教祖様は、前述の「生きておる者にはみな、おかげをやってあるぞ。ご恩忘れなよ。」に続けて

「その中にも、まことのおかけを受ける者が、千人に一人がないぞ」と説かれます。つまり、あって当たり前だと思っていたことに「感謝」ができるようになると、まことのおかけが受けられるのかもしれない。

では「まことのおかげ」とは何でしょうか？これこそ、冒頭で述べた、私達を助けるために「神様が差し伸べてくれた手」なのかもしれません。



「神様が私達を助けようと差し伸べられたその手を掴むためには、神様のことを知らなければいけない」

そうです、私達を生かしてくれる当たり前の働きに「感謝」ができた。それは、神様のお働きであることを知ったからこそにはありません。

天地の働き、体の働きのほかに、普段はあって当たり前だけど、それが

なければ生きていけない、生活が成り立たないものがいっぱいあるはずです。その当たり前のことたちに「心からお礼が言えるようになる」稽古、それが信心です。それができれば、私達を生かすだけではなく、私達を助けようとしている神様のお働きを受け止めることができる。何か起きた時に神様が助けてくれる。予想もできない様々な事が起こる今の世の中で、安心を得ることにつながります。



今年一年、私達を生かし支えてくれる神様の御働きにお礼が言えるよう稽古にはげみ、「まことのおかげ」を受けられるようになり、この先の安心を蒙りましょう。

お知らせ

○道東地区教会連合会・研修会について

令和五年度の連合会研修会は「十勝教会」が当番教会です。巻末の日程案内をご覧ください。

教会日誌

令和4年11月1日から12月31日まで

11月3日

夕張教会大祭、教会長祭主、教話御用。

11月3日

北見教会大祭、みよ子先生、参列。

11月5日

帯広市、S家、式年祭。

11月6日

帯広教会大祭、教会長参列。

11月12日

大祭前大掃除。

11月13日

函館教会大祭、教会長参列、教話御用。

11月17日

北海道教区教会女性の会、千鶴子先生、みよ子先生出席。

11月18日

大祭前ご用奉仕、19日も。

11月20日

生神金光大神大祭。

11月23日 道東地区教会連合会役員会、教会長出席。

12月3日 帯広市、M家、式年祭。

12月4日 東京都、T家、五十日祭・合祀祭。

12月9日 薫別講社、生神金光大神大祭。

12月15日 帯広市、K家、新築落成奉告祭。

12月25日 池田町、S家、式年祭。

12月31日 越年感謝祭。

お知らせ

○道東地区教会連合会 春秋大祭交流参拝について

道東地区教会連合会（釧路、北見、十勝、帯広、網走）では、新型コロナウイルスの感染拡大で中止していた春秋の大祭交流参拝を、令和五年春から再開する予定です。信徒会の交流の意味もありますので、再開した折りには、よろしくお願いいたします。

なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては中止しますのでご了承ください。

写真・大祭前のご用奉仕
上段・大掃除の様子
下段・直会料理と献花の様子。
今回の御大祭も直会はお弁当のお持ち帰り。いつも通りお弁当は婦人部の手作りです。



このページの写真

生神金光大神大祭

今回の御大祭から、隣接教会の先生の参列が復活しました(二段目右)。
信者さんの交流参拝は令和五年春の御大祭から復活する予定です。

祭典前の総代お届け



取次唱詞



夕張教会長(三段目中)、教
話講師(同左)、参拝者代表
(四段目) 玉串奉奠
教話講師は函館東部教会・
前川先生

令和5年 十勝教会 主な祭典&行事予定 ※変更になることがあります

☆大 祭 (大祭前大掃除・打ち合わせ)

- 春 天地金乃神大祭 4月16日(日) 午前11時
- 秋 生神金光大神大祭 11月19日(日) 午前11時
- 大祭前大掃除・大祭打ち合わせ 4月9日(日)、
11月12日(日) 午前10時

- ☆霊 祭 ○春季霊祭 3月21日(火・春分の日) 午後1時30分
- 秋季霊祭 9月23日(土・秋分の日) 午後1時30分
- 教会設立記念祭・布教功労者報徳祭
8月13日(日) 午後1時30分

☆感謝祭など

- 元 日 祭 1月 1日(日) 午後1時30分
- 勸学祭併せて生神金光大神月例祭 4月 1日(土) 午後1時30分
- 上半期感謝祭(夏越大祓) 7月 1日(日) 午後1時30分
- 越年感謝祭(年越大祓) 12月31日(日) 午後1時30分

- ☆月 例 祭 毎月 1日・生神金光大神月例祭 午後1時30分
- 毎月10日・月例霊祭 午後1時30分
- 毎月21日・天地金乃神月例祭 午後1時30分

- ☆薫別講社 ○春 天地金乃神大祭 5月5日前後 午前11時
- 秋 生神金光大神大祭 12月5日前後 午前11時
- 月 例 祭 毎月5日 午前11時

- ☆滝上礼拝所 ○年頭祭 1月7日(土)
- 春秋大祭・霊祭 日程調整中

- ☆教祖140年本部大祭団体参拝 10月10日(火)の祭典日に参拝予定
日程等詳細はあらためてお知らせいたします

- やつなみ会(旧信徒会)総会 中止(念のためこの冬も中止いたします)
- 境内清掃 6月～8月の間に2、3回

- ☆道東地区教会連合会研修会 6月17日(土) 午後1時
終了後懇親会を行います (今年は十勝教会が当番教会です)